

令和3年第8回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和3年12月1日（水） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 8番 鹿兒島 巖 君
- (2) 9番 小笠原 憲 昭 君
- (3) 5番 菅 原 明 雅 君
- (4) 6番 秋 元 英 俊 君
- (5) 3番 本 田 佳 子 君

令和3年11月30日招集

第8回小坂町議会（定例会）

発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	8	鹿兒島 巖	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 空き家対策について</p> <p>2. 原油高騰の影響から暮らし・生業を守る福祉灯油などの支援策を</p> <p>3. 若者定住政策に関わって</p> <p>4. スクールカウンセラー実施状況に関わって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>今年2月の定例議会で、積雪期での空き家対策についての一般質問に対して、「全町調査を行い、施策を検討したい」と答弁し、今議会の町政報告で調査結果と、空き家対策計画の見直しを進めるとの報告をいただいたことに関わって。</p> <p>1. 利活用が可能と思われる家屋と解体が必要と思われる家屋の把握状況はどうか。</p> <p>2. 特に安心・安全の観点から解体への支援の強化が必要と考えるがどうか。</p> <p>原油価格の高騰にともなうガソリンや灯油価格高騰、加えてコロナ禍であえぐ中で食料品の相次ぐ値上げや電気料金などの光熱水費の引き上げが家計を圧迫していることに対して福祉灯油の実施や、地元事業者への燃料費助成制度の創設、民間福祉施設の暖房費への助成が必要と考えるがどうか。</p> <p>昨年6月議会で、定住促進住宅の増設を求めたことに対して、「民間賃貸住宅の建設支援で対応したい」としたことに関わって。</p> <p>1. 民間賃貸住宅の建設実績はどうか。</p> <p>2. 岩ノ下住宅の町有地の半分の空き地は増築し活用すべきと考えるがどうか。また空き地としておくのであれば、一角をミニ児童公園などの施設として活用することを提案したい。</p> <p>文科省が10月6日、小中学生の不登校に関するアンケート調査結果を公表したが、この調査結果に関わって、当町での状況と、対応について</p> <p>1. 文科省の調査によれば不登校について誰にも相談しなかったが40%前後、相談したでは家族が小6で53%、中2で45%。先生が13%と15%、カウンセラーが8%と7%だったとして相談体制の充実が必要としていることをどう受け止めたか。</p> <p>2. 町教委はスクールカウンセラー実施状況を毎年公表しているが、不登校については2013年度以降増加傾向を示し2019年度では136件にまで達したが、2020年度で67件と大きく減少している。また他の項目での2019年度までと2020年度で大きな差異が見られるが、この差異等をどうとらえているか。</p> <p>3. スクールカウンセラーの見直しが必要と考えるがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	9	小笠原憲昭	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 観光施設の利活用について</p> <p>2. スポーツ施設の管理運営について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 康楽館、鉱山事務所等を町民が利活用しやすくし、楽しい活気のある町づくりへの工夫はできないか。</p> <p>1. 野球場、陸上競技場は規定のルールどおりに整備されているか。</p> <p>2. 野球場の裏側の中央公園との間の通路の整備計画はあるか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	5	菅原 明雅	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 本町の独居老人の見守り策と独居老人の孤独死について</p> <p>2. 「和井内貞行翁」の顕彰について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>本町の福祉行政は、社会福祉協議会・福祉会等と連携し、きめ細かく実施されていると高く評価しています。その上で質問いたします。</p> <p>1. 本町の独居老人の見守り策と町内の独居老人の孤独死の実態について伺いたい。</p> <p>2. 「小坂町地域支え合い事業」等で各自治会では独居老人の担当者を決めるなどして、独居老人の孤独死等に対応していますが、民生委員もない自治会もあり課題は多いと思います。今後急速に進む高齢社会の中で、独居老人の孤独死防止にどのように対応してゆこうとお考えか伺いたい。</p> <p>3. ゆーとりあでは町の委託を受け「小坂町配食サービス事業」を展開し、食を通して独居老人等を見守るという支援をしておりますが、弁当作りから宅配まで支援者のほとんどがボランティアであると聞きます。また支援者の高齢化や次世代の支援者不足が懸念されることも聞きます。このような素晴らしい事業を継続するためにも、「活動に見合った対価が必要」と考えますが、いかがお考えか伺いたい。</p> <p>来々年2022（令和4）年は、「十和田湖開発の先駆者 和井内貞行翁」の没後100周年の節目の年にあたります。</p> <p>1. 昭和30年の町村合併以来、本町は和井内貞行翁をどのように顕彰してきたか、また今後翁の偉業をいかに後世に繋げていこうとお考えか伺いたい。</p> <p>2. 現在、和井内貞行翁没後100周年の節目に、秋田県側十和田湖観光の拠点として期待され新設される「和井内エリア道の駅」周辺に、和井内貞行翁の銅像を建てようと「十和田湖畔に和井内貞行の銅像を建てる会」設立の動きがあります。町はこの会にどのように関わっていかうとお考えか伺いたい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	6	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 第6次総合計画について</p> <p>2. 川上公民館整備事業について</p> <p>3. 小坂町消防団の未来について</p> <p>4. 「新しい資本主義」提案について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 資源循環の推進における生ごみの処理について。(基本目標4-1について)</p> <p>1. 第6次総合計画の実施計画(案)の川上公民館整備事業で、令和4年度に体育館改修工事とあるが、新しい川上公民館と体育館の連絡通路(渡り廊下)は含まれているのか。(公民館新設にあたり体育館との連絡通路は構想の中にあつたが実現されていない。)</p> <p>1. 小坂町消防団強化について、小坂町における幼少年婦人防火委員の構築を進めるべきと考えますが、町としての対応は可能か。(幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブの育成)</p> <p>2. 教育委員会として、無火災の推進等を図る目的で、幼少年に防火における教育を幼少年防火クラブとして立ち上げ、教育の一環として構築することは可能か。</p> <p>1. 介護・保育収入増への始動について、国の政策にいち早く取り組むべき事業の展開を構築しておくべきと考えますが、町としての方向性を伺います。 (国の具体的政策はまだですが、収入増への基本的なフローは構築しておくべきと考え、この施策への考え方を示していただきたい。)</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	3	本田佳子	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. オンラインアプリの活用について</p> <p>2. 再生可能エネルギーの活用について</p> <p>3. 援助を必要とするマークの周知について</p> <p>4. I o T利活用型みまもりシステムについて</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 町内の介護施設等において、オンラインアプリを利用している面会は行われているか。</p> <p>2. 今後、感染症等が拡大した場合に限らず、オンラインアプリ等を利用すべきと考えるがいかがか。</p> <p>3. デジタル化に伴い、上手に活用することで心のケアや意志疎通に有効と考える。町として今後どのように働きかけをしていくのか。</p> <p>1. 町の再生可能エネルギーの現況、進捗状況はどうか。</p> <p>2. 町の将来に向けて、自然を利用したエネルギー確保が重要と考えるが、今後進めていく考えはあるのか。</p> <p>1. ヘルプマーク、マタニティマーク等、援助を必要とするマークを町民にどのように周知しているか。</p> <p>1. 町ではI o Tを活用した見守り等を行っているか。</p>		